

# タッチ패드およびキーボード

製品番号 : 410773-291

2006年4月

このガイドでは、コンピュータのタッチ패드およびキーボードについて説明します。

---

# 目次

<b>1</b>	<b>タッチパッド</b>	
	タッチパッドの概要	1-1
	タッチパッドの使用	1-2
	外付けマウスの使用	1-2
	タッチパッド機能のカスタマイズ	1-3
<b>2</b>	<b>キーボード</b>	
	ホットキー	2-1
	ホットキーのクイック リファレンス	2-2
	ホットキーの操作	2-2
<b>3</b>	<b>テンキー</b>	
	内蔵テンキーの使用	3-2
	内蔵テンキーの有効/無効の切り替え	3-2
	内蔵テンキーの機能の切り替え	3-3
	外付けテンキーの使用	3-3
	外付けテンキーのNum Lockモードの有効/無効の切り替え	3-3

# 1

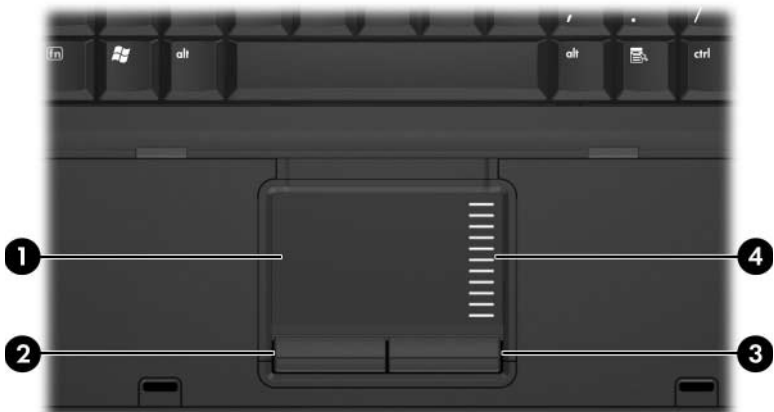
## タッチパッド

次の項目では、タッチパッド機能について説明します。



お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。

### タッチパッドの概要



名称	機能
① タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択またはアクティブにしたりします。スクロールやダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます

(続く)

名称	機能
② 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
③ 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
④ タッチパッドのスクロール ゾーン*	画面を上下にスクロールします

\*この表では初期設定の状態について説明しています。タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。タッチパッドの設定について詳しくは、「[タッチパッド機能のカスタマイズ](#)」を参照してください。

## タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッドのボタンは、外付けマウスの対応するそれぞれのボタンと同様に機能します。タッチパッド垂直スクロールゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロールゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。



ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロールゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロールゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

## 外付けマウスの使用

外付けUSBマウスは、コンピュータにあるUSBポートのどれか1つを使用してコンピュータに接続できます。USBマウスは、別売のドッキングデバイスのポートを使用してシステムに接続することもできます。

## タッチパッド機能のカスタマイズ

Microsoft® Windows®の[マウスのプロパティ]を使用して、次のようにタッチパッドの設定をカスタマイズできます。

- タッチパッドのタップ。タッチパッドを1回タップするとオブジェクトを選択し、2回タップするとオブジェクトをダブルクリックするように設定できます（初期設定で有効に設定されています）。
- エッジモーション。指がタッチパッドの端まできてもスクロールし続けるように設定できます（初期設定で無効に設定されています）。
- ボタン機能のカスタマイズ。左利き用および右利き用にボタンの設定を変更できます（初期設定では右利き用の設定が有効になっています）。

マウスの速度や軌跡などの機能も[マウスのプロパティ]で設定できません。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、次の操作を行います。

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。

## キーボード

次の項目では、コンピュータのキーボード機能について説明します。

### ホットキー

ホットキーは、[fn]キー①と、[esc]キー②またはファンクションキー③との組み合わせです。

ホットキーの機能は、[f3]、[f4]、[f8]、[f9]および[f10]のファンクションキーにアイコンで示されています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。



ホットキーの機能は、Windowsをお使いの場合にのみ使用することができます。下の図は英語版のキー配列ですので、日本語版のキー配列とは若干異なります。



## ホットキーのクイック リファレンス

実行する機能	キーの組み合わせ
スタンバイの起動	[fn]+[f3]
スタンバイ状態からの復帰	電源ボタン
コンピュータのディスプレイと 外付けディスプレイの画面の切り替え	[fn]+[f4]
バッテリー情報の表示	[fn]+[f8]
バッテリー情報の消去	[fn]+[f8]
画面の輝度を下げる	[fn]+[f9]
画面の輝度を上げる	[fn]+[f10]
システム情報の表示	[fn]+[esc]
システム情報の消去	[fn]+[esc]キーを押すか[OK]をクリックする

## ホットキーの操作

コンピュータのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下の操作のどちらかを行います。

- [fn]キーを短く押し、次にホットキー コマンドの2番目のキーを短く押します。

または

- [fn]キーを押しながら、ホットキー コマンドの2番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

## スタンバイの起動 ([fn]+[f3])

スタンバイを起動するには、[fn]+[f3]ホットキーを押します。

スタンバイが起動すると、情報がランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態の間は、電源ランプが点滅します。



**注意：**情報の損失を防ぐために、スタンバイを起動する前に必ずデータを保存してください。

スタンバイを起動する前に、コンピュータの電源がオンになっている必要があります。コンピュータがハイバネーション状態の場合は、スタンバイを起動する前にハイバネーションから復帰する必要があります。

スタンバイから復帰するには、電源ボタンを短く押すか、キーボードの任意のキーを押します。



ハイバネーションから復帰するには、電源ボタンを短く押します。

[fn]+[f3]ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、[fn]+[f3]ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。



Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「スリープ ボタン」に関する記述はすべて、[fn]+[f3]ホットキーに当てはまります。



## 画面の切り替え ([fn]+[f4])

[fn]+[f4]ホットキーを押すと、システムに接続されているディスプレイデバイスの中で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、[fn]+[f4]ホットキーを押すたびに、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外部VGAビデオ方式を使ってコンピュータからビデオ情報を受け取ります。

次のビデオ伝送方式が[fn]+[f4]ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (コンピュータ本体のディスプレイ)
- 外部VGA (ほとんどの外付けモニタ)

## バッテリー充電情報の表示 ([fn]+[f8])

[fn]+[f8]ホットキーを押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリーの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリーと、各バッテリーの残量が確認できます。

バッテリーの位置は、次の番号で表示されます。

- #1はメインバッテリーです。
- #2は別売のオプションバッテリーです。

### 輝度を下げる ([fn]+[f9])

[fn]+[f9]ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ変わります。

### 輝度を上げる ([fn]+[f10])

[fn]+[f10]ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ変わります。

### システム情報の表示および消去 ([fn]+[esc])

[fn]+[esc]ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやシステムBIOS (Basic Input/ Output System) のバージョン番号に関する情報が表示されます。[fn]+[esc]ホットキーをもう1回押すと、システム情報が画面から消えます。

[fn]+[esc]ホットキーで表示される画面では、システムBIOSのバージョンはBIOSの日付として表示されます。コンピュータのモデルによっては、BIOSの日付は小数点で区切られた形式で表示されます。BIOSの日付は、システムROMのバージョン番号とも呼ばれます。

# 3

## テンキー

お使いのコンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。



上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

名称	機能
① Num Lockランプ	Num Lockがオンのときに点灯します

(続く)

名称	機能
② [fn]キー	ファンクション キーまたは[esc]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
③ [num lock]キー	[fn]キーと同時に押すと内蔵テンキーが有効になります
④ 内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます

## 内蔵テンキーの使用

15個の内蔵テンキーは外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。

## 内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、[fn]+[num lock]キーを押します。Num Lockランプが点灯します。[fn]+[num lock]キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。



外付けキーボードやテンキーがコンピュータまたは別売のドッキングデバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

## 内蔵テンキーの機能の切り替え

[fn]キーまたは[fn]+[shift]キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーの機能をテンキーの入力機能に変更するには、[fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、次の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、[fn]キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、[fn]+[shift]キーを押しながら文字を入力します。

## 外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lockモードがオンのときとオフのときとで機能が異なります（初期設定では、Num Lockモードはオフになっています）。たとえば、次のようになります。

- Num Lockがオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lockがオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

外付けテンキーでNum Lockモードをオンにすると、コンピュータのNum Lockランプが点灯します。外付けテンキーでNum Lockをオフにすると、コンピュータのNum Lockランプが消灯します。

外付けテンキーを接続している場合は、内蔵テンキーを使用することができません。

## 外付けテンキーのNum Lockモードの有効/無効の切り替え

作業中に外付けテンキーのNum Lockモードのオンとオフを切り替えるには、次の操作を行います。

- » コンピュータではなく、外付けテンキーの[num lock]キーを押します。

© Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

---



**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

---

タッチパッドおよびキーボード  
初版 2006年4月  
製品番号：410773-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社